

4-4 新たな連携軸の形成パターン

- 県境部付近に接続
- 既存のトンネルやIC・JCTの位置を考慮



- 県境部付近に接続
- 津波浸水想定域を配慮

4 対策案の検討

4-5 一次選定結果

■ 一次選定の結果より、三ヶ日JCTを起点とする2案を詳細に比較検討するルート常案として選定する。

視点 形成パターン		i 地域連携		ii 産業		iii 生活	iv 医療	v 防災	
		山間部と沿岸部をダイレクトに連絡	渥美半島や三河湾と高速道路のアクセシブル向上	県境地域の産業拠点と高速道路のアクセシブル向上	県境地域の産業交通と生活交通の分離	県境地域から高次医療機関へのアクセシブル向上	津波浸水想定等回避	内陸部から沿岸部へのアクセシブル向上	
①	〔東名〕 豊橋市北部	△	○	○	△	△	△	○	○
	〔R23・R1BP〕 豊橋市南西部	三遠南信自動車道から直線的に利用できない							
②	〔東名〕 豊橋市北部	△	△	○			△	○	○
	〔R23・R1BP〕 豊橋市南東部	三遠南信自動車道から直線的に利用できない	迂回するようルートとなる			迂回するようルートとなる			
③	〔東名〕 三ヶ日JCT	○	○	△			○	○	○
	〔R23・R1BP〕 豊橋市南西部			迂回するようルートとなる					
④	〔東名〕 三ヶ日JCT	○	○	○			○	○	○
	〔R23・R1BP〕 豊橋市南東部								
⑤	〔東名〕 三ヶ日IC	△	○	△			○	△	○
	〔R23・R1BP〕 豊橋市南西部	三遠南信自動車道から直線的に利用できない		迂回するようルートとなる			危険区域を通過する		
⑥	〔東名〕 三ヶ日IC	△	○	○			○	△	○
	〔R23・R1BP〕 豊橋市南東部	三遠南信自動車道から直線的に利用できない					危険区域を通過する		

○：効果が期待できる

△：効果が不透明